

## 国際紙パルプ商事が欧州最大手紙商の買収を発表 直ちに格付への影響はないが、今後のシナジー効果に注目

以下は、国際紙パルプ商事株式会社（証券コード：9274）が、Antalis S.A.（Antalis 社）の子会社化に向けた株式譲渡契約の締結に合意したことについての、株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

### ■見解

- (1) 当社は3月31日、フランスの紙卸売会社 Antalis 社の普通株式を取得することに合意したと公表した。当社の議決権保有割合は 83.6%となる見通しである。なお、最終的には Antalis 社の全発行済株式を株式公開買付けにより取得、当社の完全子会社とする予定である。本買収は、アジア・パシフィック圏を中心とする当社が、欧州に事業基盤を有する Antalis 社を取り込むことにより、海外事業領域を拡大させることを目的としている。
- (2) 株式の取得価額の総額は、本件に係る買収価額約 13 億円に加え、株式公開買付けによる取得金額が加わる見込みである。買収による資金負担や連結子会社化に伴う資産・負債の増加により財務上の負担は生じる。ただし、一定水準の財務構成は維持されるとみており、直ちに格付への影響は生じないと JCR では判断した。
- (3) Antalis 社は、欧州を中心に南米、アジア・パシフィック地域を含めた世界 41 か国に拠点を持つ欧州最大の紙商である。パッケージング事業及びビジュアルコミュニケーション事業をペーパー事業に代わる成長分野として位置づけ、事業構造改革と積極的な投資を進めている。Antalis 社の 19/12 期最終損益は、リストラ費用や金融費用の増加を主因に 77.9 百万ユーロの赤字となっているが、20/12 期以降は債務免除による金融費用の減少やリストラ効果などにより、利益は改善する見通しである。ただし、足元では新型コロナウイルス感染拡大の影響が生じており注意を要する。今後計画通りにシナジー効果を発現させ、当社の連結利益への貢献が進むのか注視していく。

（担当）本西 明久・村松 直樹

### 【参考】

発行体：国際紙パルプ商事株式会社  
国内 CP 格付：J-2

### ■留意事項

本文に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等することは禁じられています。

### ■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル